

## ■ 事業のセールスポイント

泉パークタウン（約1万世帯の郊外居住地域）は、「既存街区」での個別技術実証、並びに「新規街区」での技術パッケージ運用実証「**コミュニティ都市OS及び利用サービス**」を連携発展できる。住民の暮らしに基づく設計が「**実用性の高いコミュニティ都市OS**」を実現し、「**住民主体のタウンマネジメント**」が持続的な運用を可能にする。さらに「産・官・民連携」体制の相互補完的なアーキテクチャを通じ、全国の郊外居住地域が抱える課題解決の糸口を示す、「**郊外居住地域型スマートシティモデル**」を実現する。

## ■ 泉パークタウンの概要

### [位置図]

仙台市北部エリアの郊外居住地域（中心部から約10km）



### [面積・人口等]

街開き 1974年  
 ※多彩な生活機能を備えた複合型都市  
 総開発面積 約1,074ha  
 10,432世帯 25,525人（2021年1月時点）  
 2023年新街区街開き 約48ha 721世帯  
 6km

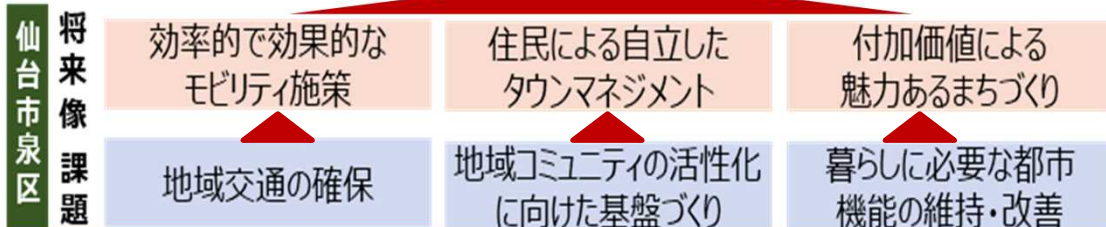
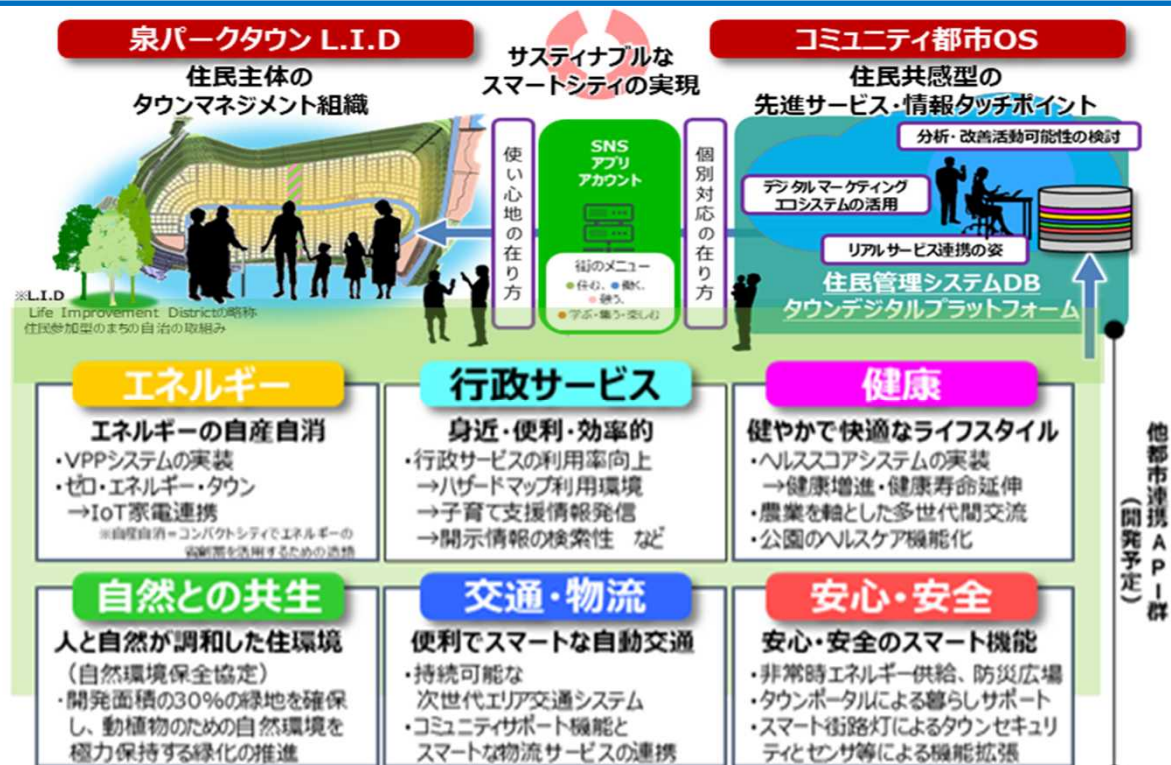
IZUMI PARK TOWN Zoning



## ■ 対象区域のビジョン

利用者（住民）目線を基に、全国の郊外型住宅団地が抱える都市課題解決に資する取組を泉パークタウンにて実施・検証し、成果を展開する。  
 様々な関連分野の先進的な技術等を活用したアーキテクチャを構築し、既存街区では個別技術実証を、新街区ではサービスのパッケージ化と運用実証を実施する。

## ■ 課題と取組み



## ■ スマートシティの目標(KPI)

KPIについては、「コミュニティ都市OS」の実証実験に基づく、取得データ、実証成果等を踏まえて設定を行う

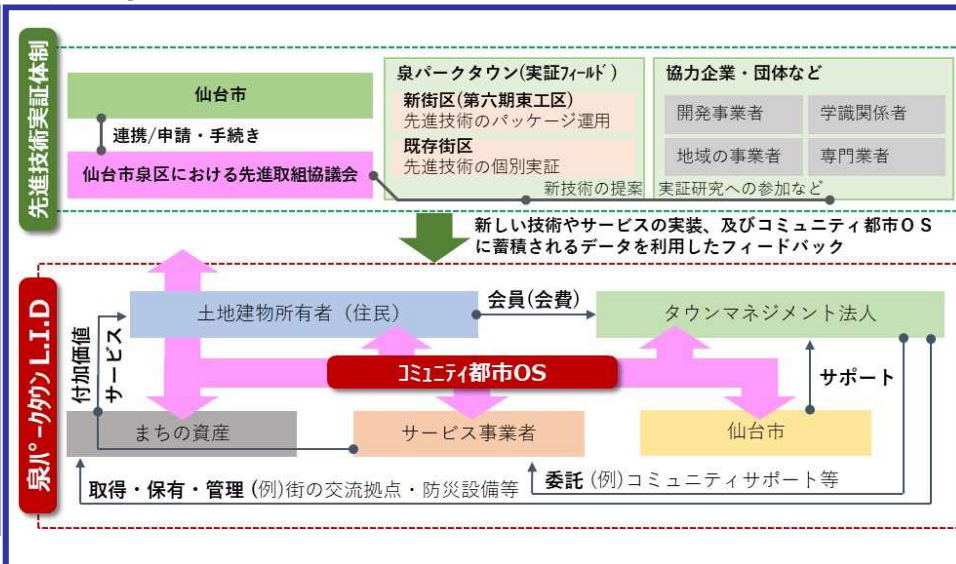
KPI 仮説：「コミュニティ満足度」指標

コミュニティ都市OSとタウンマネジメント運用による、良質なコミュニティ形成・満足度を測るKPIを検討。「コミュニティ満足度」を向上させる取組みを通じ、地域コミュニティの活性化、持続的な都市機能の維持といった地域課題の解決に繋げる

＜指標の元になる、取得データ・KPI例＞

- 具体的なKPI目標数値（対象世帯） ※…対象世帯
- ・コミュニティ都市OSおよび利用サービスの登録率 : 90%※
- ・配信アンケート等の回収率 : 50%※
- ・各サービス・コンテンツの利用評価 : 定性評価
- ・共用施設（集会所等）利用回数 : 前年比10%増
- 目標年度 : 2024年度

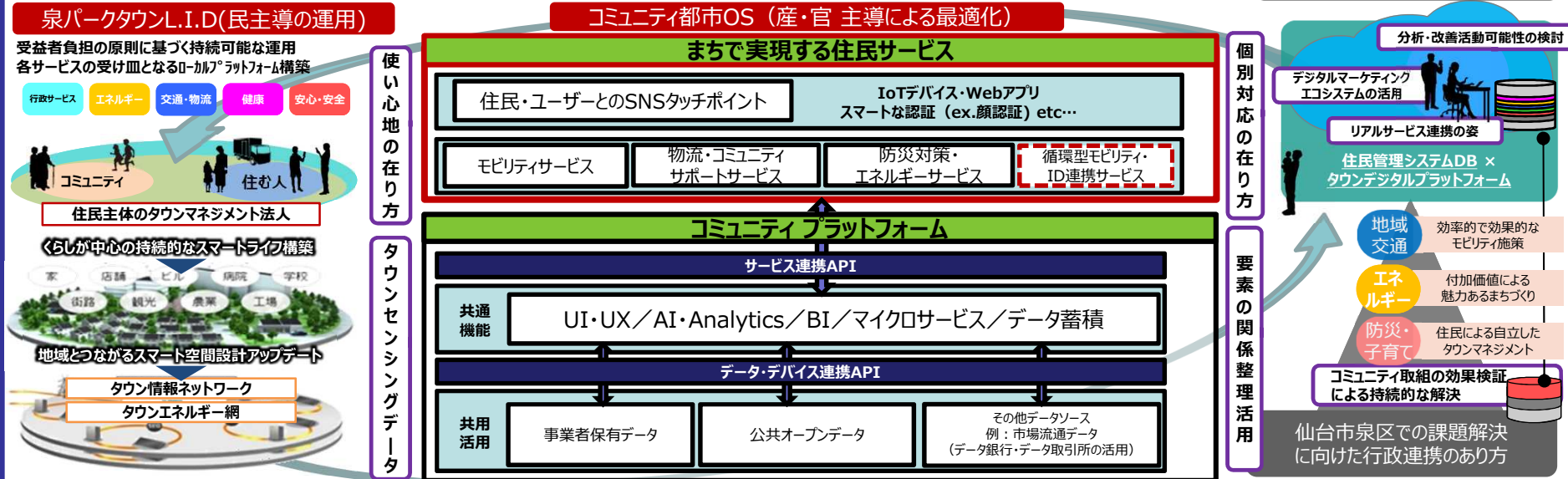
## ■ 運営体制



## ■ 導入技術 ( 枠内が先行取組事業 )

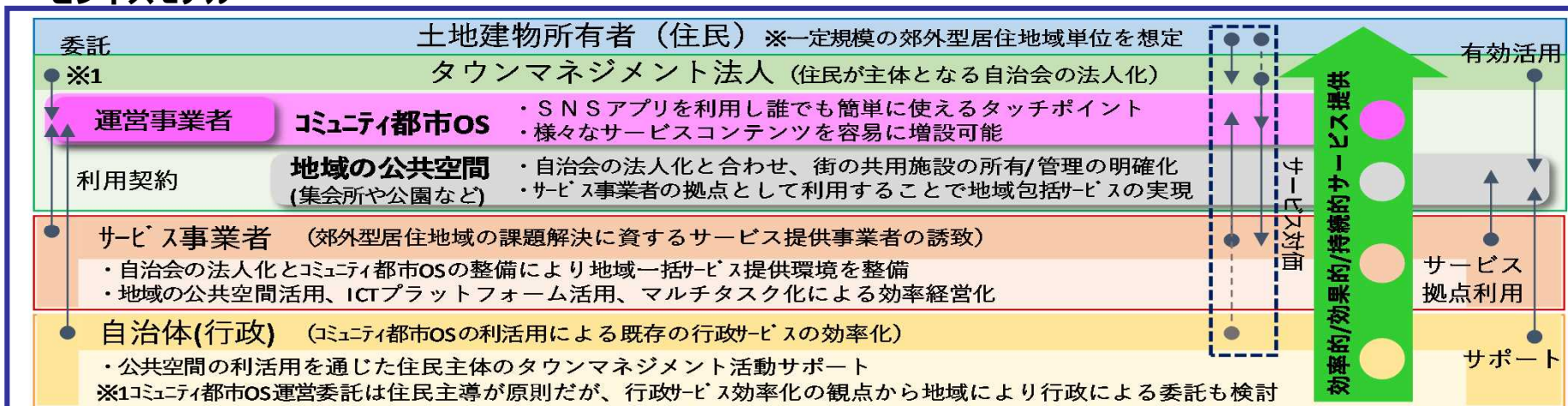
- デジタルマーケティングの仕組みを応用した、住民共感型のタッチポイントで分野横断の先進サービスを一元的に提供
- 「くらし起点」の生活動データ収集と、まちの動態把握により、タウンマネジメントで新たな価値創出
- 連携サービスのアドオンや、他都市連携API群の整備等、拡張性を備えたプラットフォーム構築（将来対応）

都市OSを活用する住民主体型  
タウンマネジメント法人と  
そのアーキテクチャーのあり方

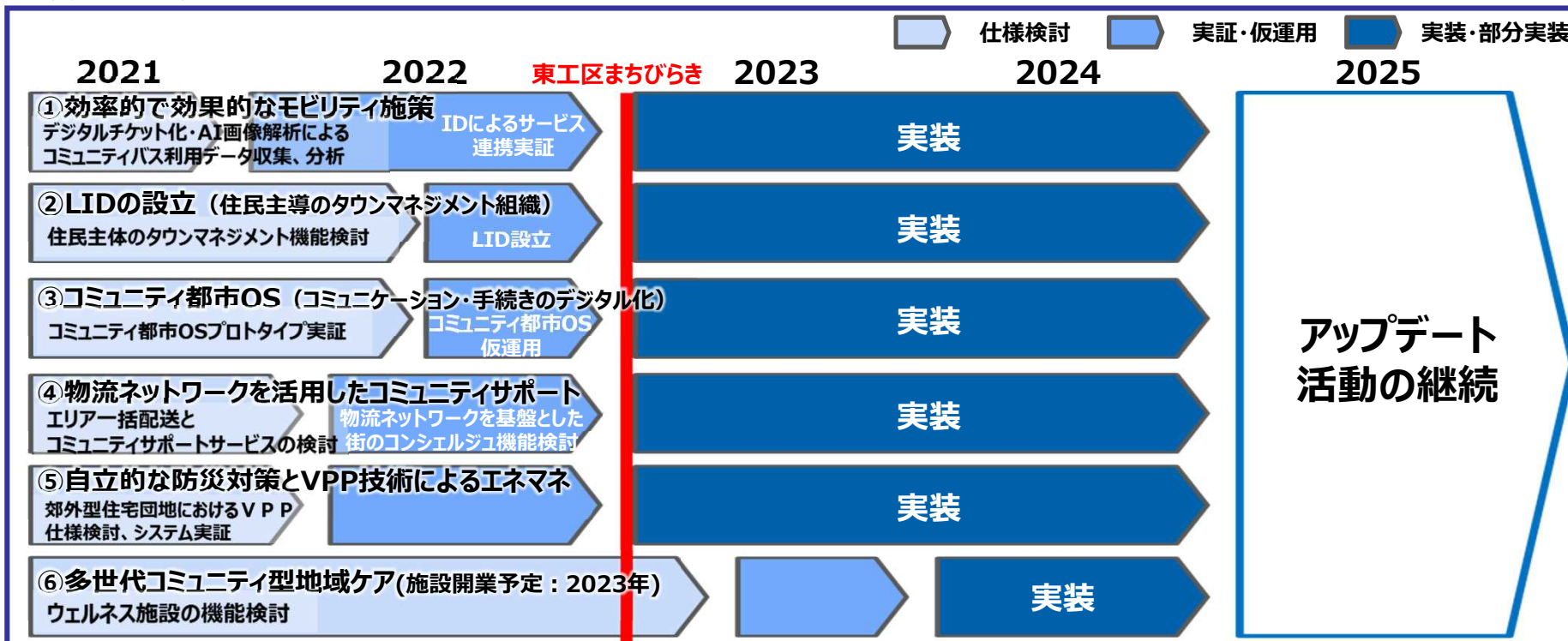




## ■ ビジネスモデル



## ■ スケジュール



- 住民目線による都市OSの最適化を目指し、仙台市の課題を産官民の各事業取組の総和で解決する、持続可能な街全体のアーキテクチャを構築。その取り組みを他の郊外居住地域へ水平展開する。

